

授業科目 英語 I

【担当教員名】  Darlene Yamauchi	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

【一般目標：GIO】  
 テキストを用いながら、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの4つのスキルを向上させるとともに実践的なコミュニケーション能力を育成する。テキストは医療福祉に関する話題を取り扱うものであり、医療福祉の現場で役立つ英語を習得する。

Students will develop general, practical communication skills that may be used in the field of health and welfare, while improving the four skills of reading, listening, writing and speaking. The text is intended to deal with the topic of current medical welfare issues with the purpose of improving students English communication ability in this field of study.

【学習目標・行動目標：SBO】

1. QOL 関連の内容が書かれた文章を理解して、自分の言葉で述べることができる。
2. 学習した内容を自らの専門分野での学習に役立てようとする意欲を持つ。
3. 自らの QOL を高めることに関心を持つ。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	Introduction		講義、演習
2	Health Basics 1		講義、演習
3	Health Basics 2		講義、演習
4	A Good Nights Rest 1		講義、演習
5	A Good Nights Rest 2		講義、演習
6	Allergies 1		講義、演習
7	Allergies 2		講義、演習
8	Stress Management 1		講義、演習
9	Stress Management 2		講義、演習
10	Skin Conditions 1		講義、演習
11	Skin Conditions 2		講義、演習
12	Sports Injuries 1		講義、演習
13	Sports Injuries 2		講義、演習
14	Review		講義、演習
15	Conclusion		演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	Health Matters : Health Awareness for College Students	Tetsuro Fujii, Adam Murray		2010・2,000 円+税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況、確認テスト等による授業内での評価に、共通テストの評点も成績に加える。	【履修上の留意点】 グループ活動がメインとなりますので、メンバーと積極的にコミュニケーションを取る姿勢が求められます。
---	--